

授業科目

高齢者看護学概論

担当教員名 平山 恵美子、高橋 智美	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

本科目では、加齢に伴う変化を踏まえた高齢者の看護方法を理解し、高齢者を尊重しながら健康問題を解決するための日常生活援助を検討・実践する。

授業の目的

高齢者看護の理念・目標、加齢に伴う変化を踏まえた援助方法を理解し、高齢者の健康問題を解決するための日常生活援助が実施できる。また、援助を受ける高齢者の思いを推察し、高齢者を尊重する姿勢を価値づけることができる。

学習目標

1. 高齢者看護の理念・目標・方法について述べられる。
2. 高齢者の「身体」「こころ」「暮らし」の変化について考えられる。
3. 高齢者の健康問題の特徴を列挙できる。
4. 高齢者の生理的特徴を考慮した健康支援のあり方を検討できる。
5. 高齢者の健康問題を解決するために必要な日常生活援助が実施できる。
6. 高齢者の健康の維持・増進、介護予防について述べられる。
7. 高齢者の安全を守る方法について述べられる。
8. 高齢者の人権やバリアフリーに関心を示すことができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	加齢に伴う変化	グループワーク	平山 恵美子
2	加齢に伴う変化	グループワーク	平山 恵美子
3	加齢に伴う変化	グループワーク	平山 恵美子
4	高齢者看護の概念、背景	講義	平山 恵美子
5	高齢者の健康問題、日常生活援助（活動、転倒のアセスメントと看護）	講義	平山 恵美子
6	日常生活援助（廃用症候群、褥瘡のアセスメントと看護）	講義	平山 恵美子
7	日常生活援助（栄養状態、摂食機能のアセスメントと看護）	講義	平山 恵美子
8	日常生活援助（排泄、清潔のアセスメントと看護）	講義	高橋 智美
9	日常生活援助（生活リズム、睡眠のアセスメントと看護）	講義	高橋 智美
10	生活の援助技術（高齢者体験・感覚器体験）	演習	高橋 智美 他
11	生活の援助技術(口腔ケア, 義歯の取り扱い)	演習	高橋 智美 他
12	生活の援助技術（オムツ交換，陰部洗浄）	演習	高橋 智美 他
13	生活の援助技術(体圧分散, 安楽な体位保持, 背抜き)	演習	高橋 智美 他
14	高齢者のエンド・オブ・ライフケア	講義	平山 恵美子
15	高齢者とリスクマネジメント	講義	高橋 智美

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	系統看護学講座専門分野II 老年看護病態・疾患論	佐々木秀忠、鳥羽研二、荒井啓行 他	医学書院	2014年	2,300円 + 税	
	系統看護学講座専門分野II 老年看護学	北川公子、井出訓、植田恵 他	医学書院	2014年	2,700円 + 税	

参考書	褥瘡ガイドブックー褥瘡予防・管理ガイドライン（第4版） 準拠（第2版）	日本褥瘡学会編	照林社	2015年	2,700円 +税	
	高齢者の転倒予防ガイドライン	鳥羽研二	メジカルビューウ	2012年	3,500円 +税	
	高齢者の不安とその対策－経済・健康・孤独－ Advances in Aging and Health Research 2014	祖父江逸郎、樋口輝彦、鈴木隆雄 他	公益財団法人長寿科学振興財団	2015年		
その他の資料						

評価方法

定期試験 70%

レポート（グループワーク、演習）30%

履修上の留意点

演習時は基礎看護学実習室使用ガイドに記載されているユニフォーム着用上の留意点を遵守する。

オフィスアワー・連絡先

【office hour】 平日 8:30～17:00

【研究室】 K413

【e-mail】 tomomi-takahashi@nuhw.ac.jp